

公益財団法人8020推進財団
令和3年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名: 障害者施設歯科健診及び障害者歯科診療所開設事業

2. 申請者名: 一般社団法人 東京都立川市歯科医師会 会長 片岡 滋

3. 実施組織: 一般社団法人 東京都立川市歯科医師会
社会福祉法人 立川市社会福祉協議会

4. 事業の概要:

立川市の社会福祉法人立川市社会福祉協議会の事業所の1つである福祉作業所に通所されている障害者に対し、無料歯科健診を行った。また、歯科健診の前に質問票に回答をいただいた。他の施設を含めて継続的に市内障害者に対する無料歯科健診を推進していきたい。

本会会員向け障害者歯科研修会を開催した。東京都立心身障害者口腔保健センター 岩沼智美 歯科衛生士長を講師とし、演題は「障害のある方に対するセルフケアの支援」でした。本会会員にオンライン配信とした。

障害者歯科健診と会員研修を行い、行政と連携した障害者歯科診療所開設を目指す。

5. 事業の内容:

立川市社会福祉協議会の事業所の1つである富士見福祉作業所に通所されている障害者(5名)に対し、令和3年12月に歯科健診を行い結果を分析し考察をした。

令和4年3月に東京都立心身障害者口腔保健センター 岩沼智美 歯科衛生士長を講師として研修会を開催した。演題は「障害のある方に対するセルフケアの支援」でオンライン配信を行った。本会会員のための障害者歯科研修とした。

6. 実施後の評価(今後の課題):

歯科健診に先立ち歯や口について悩み事がないかの質問票を作成し、回答得た後に歯科健診を実施した。富士見福祉作業所に通所されている障害者(5名)に立川市社会福祉協議会にきていただき無料歯科健診を行い分析し考察した。5名全員継続的な歯科管理が必要と考えられた。5名のうち歯科治療の必要な方が3名いた。う蝕治療の必要な方は1名、歯周病治療の必要な方は2名でした。かかりつけ歯科医を持っている方が3名いた。

直ぐに気楽に通院できる、かかりつけ歯科医を必ず持つことの必要性和メンテナンスの頻度を上げて、口腔ケアの支援をすることが重要と考えられた。

障害者歯科研修会を実施し、口腔セルフケアの支援の難しさと必要性を改めて感じた。

今後、市内の他の障害者施設に対して無料歯科健診を行い、状況を把握し分析したい。

また上記の結果から、市内に行政と連携した障害者歯科施設を早急に開設する必要があると考えられた。